

新型コロナウイルスの影響による  
子どもたちの状況に関するアンケート

実施期間：2020年4月2日(木)～4月16日(木) (14日間)

実施団体：特定非営利活動法人 子ども NPO センター福岡

## アンケート実施にあたって

特定非営利活動法人子ども NPO センター福岡は、子どもの権利を具現化する「子どもにやさしいまち」を進めるため、福岡県下を中心に、子どもの課題に取り組む様々な NPO や個人とネットワークを作り、活動している団体です。

2019 年末より、その存在が報じられはじめた新型コロナウイルスは世界中へ広がり、日本においても、2 月下旬から全国での一斉休校措置が取られたことを皮切りに、外出の制限や社会・経済活動の自粛等、社会を覆う危機感は今現在も国内で高まり続けています。

いかなる場合においても、社会の急激な変化は、一番弱い立場にある子どもたちに大きな影響をもたらします。休校や外出の制限などを始めとした、新型コロナウイルスがもたらす社会状況や社会不安により、子どもたちの過ごし方、体や心にどのような変化が起きているのか、今なにが必要と思われるかについて、私たちは調査の必要性を認識しました。

そこで、子どもにやさしいまちづくりネットワーク in 福岡への登録をされている方を主な対象として、アンケートを実施しました。様々な状況でなかなか自分では声をあげづらい子どもたちの声や様子を、見守る大人の立場から把握し、可能であれば必要なリソースをつなぐことを想定し、様々な立場の方から、自由にご意見を頂くことを狙いとしました。

もちろん、この調査で見えてきたのは、課題のほんの一部かもしれません。ぎりぎりの状況で、少しでも解決の糸口になればとご意見を下さった方もいるでしょうし、意見をすすめる余裕すらもないほど切羽詰まった家庭や子どもの現場が、まだまだあることが想像されます。

これをきっかけに、見えにくい、聞こえにくい子どもの声や実態が社会に発信され、いかなる場面においても、全ての子どもの権利とそこに関わる人の人権が守られる社会に向けて、新しい対話の糸口になることを願っています。

設問数 : 7 問 (必須 4 問)

実施期間 : 2020 年 4 月 2 日(木)~4 月 16 日(木) (14 日間)

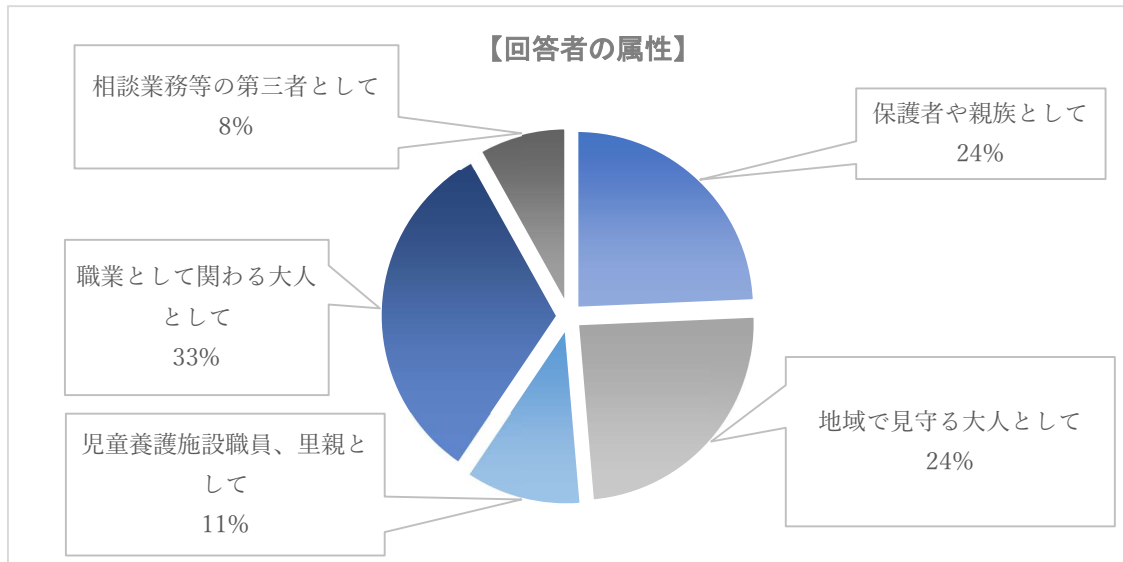
回答数 : 37 件

2020 年 4 月 23 日

子ども NPO センター福岡 事務局長 牛島 恭子

**【1：回答者の属性】** 子どもから見たあなたの立場をお答えください。

職業として関わる大人(12件・33%)、保護者や親族(9件・24%)、地域で見守る大人(9件・24%)からの意見が多く寄せられました。

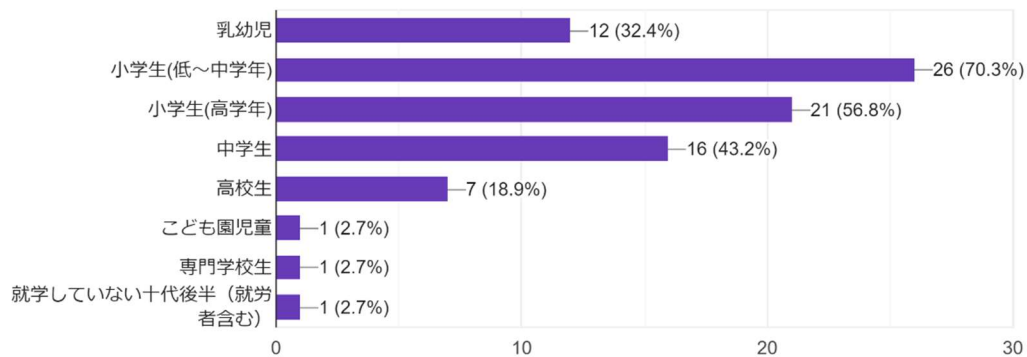


**【2：子どもの年代】**

小学生、特に低～中学年の子どもの過ごし方に関する意見が多く寄せられました。それに次いで、小学校高学年、中学生、乳幼児に関する意見が多くありました。

**【2：子どもの年代】** 子どもの年代をお選びください。

37件の回答



**【3：子どもの様子】** 子どもの過ごし方や過ごしている場所、発言、気になること、心配されることなど、自由にお書きください。

※アンケートを開始した4月2日以降、状況は目まぐるしく変化しており、あくまで回答時点の状況となります。

#### 子どもや保育者が密室の中で過ごしていることへの不安

- ・児童福祉施設(保育園や学童保育など)で、「3密を避ける」などは対極の話。
- ・新学期にそなえ、また、新一年生の入会により3割増の登会で、多い時には一部屋に60人ほど過ごす時間がある。クラスターなんて言葉を聞くとおそろしい。(学童保育)
- ・放課後デイサービスの子が密室の中で活動していることが気になる。

#### 周囲の大人がイライラしていること

- ・親御さんの苛立ちが、子供へ直に向かっていて気になる。「食費が嵩む」など苛立って、子供にとっては理不尽な発言もきかれる。(地域の居場所)
- ・お母さんたちが、イライラや不安な思いを話されている。(地域の居場所)

#### ウイルスに関する正しい知識と行動

- ・感染についての危機感が低いことが心配。(家庭)

#### 学校が始まらないことについて

- ・毎日1時間自習をしているが、それ以外にどういった勉強をしたらいいか分からない。
- ・先生や、休校になって会っていない子たちと会いたいという言葉が聞かれる。「勉強したい!」という言葉が出てきたことは、私たちにはちょっと意外。(地域)
- ・長い休みに飽きたとか、勉強したい、友達と遊びたい、学校に行きたいという発言が多かった。
- ・学校再開予定がGW明けになってしまったことで「ホントに学校始まるのかな?」「みんな元気にしてるかな?」と不安を言うようになった。(家庭)
- ・学校が休みで課題もなく、遊ぶことに集中できて楽しそう。(民間学童保育)

#### 遊び方について

- ・三密を避けるために、遊び方を制限せざるを得ない。
- ・留守家庭子ども会をやめたばかりで、家でテレビとゲームばかりしている(家庭)
- ・自然に恵まれた立地かつ異年齢集団なので、養育者のもとで、ゆったり、のんびり、のびのび過ごしている。(ファミリーホーム)
- ・雨の日はボードゲームや普段作らないような時間のかかるお菓子を作って、あっという間に1日が過ぎていく。

- ・園内で過ごしている。園外は行けません。(乳幼児)

### 社会の子どもへの目線

- ・周辺では子供だけで公園で遊んでいると補導、学校への通報が行われており、目立たない場所でゲームをしている子もいて、事故や犯罪に巻き込まれないか心配。
- ・公園で遊んでいる子どもたちに対して、水をかけられた、暴言や怒鳴るなどの情報を身近な人から聞いて残念に思っている。
- ・休校後、校庭開放が始まったが、仲のいい子に誘われても学区の違いで一緒に利用できず、子どもが大泣きしていた。

### 子どものメンタル面について

- ・ひとりで過ごす時間が長くなり気分が滅入っている子がいる。(電話相談)
- ・「なんでコロナが来たんだよ！」と大声で叫ぶ姿が見られた。(地域の居場所)
- ・ニュースでコロナのことばかり報道されているので「こわい」といっている。「外出しないようにいわれてるのに、なんで幼稚園や学童保育は行っていいのか」と疑問を口にする(家庭)
- ・注意獲得行動が多くなった、今までできていたことができなくなった(放課後デイ)

### 子どもの食事面について

- ・共働きの両親等、または母が心の病気等で在宅していても子どもに三度の食事を作ってあげることができないなど、子どもの食事の面がとても心配。(主任児童員)
- ・学校に来ることで安心だった昼御飯がきちんと食べることができているかが、今確認しづらい状況。
- ・子ども食堂では、朝ごはんを食べていない子どもがきている。休校のなかで子どもたちが食事をきちんととれているか心配。

### 見えにくくなった子どもたちの状況・・

- ・子どもを自宅に一人でおいておくことのハードルが今回のことでかなり下がってしまったように思う。
- ・必ずしも家庭が安心な場所とはいえない子どもの安全性を確保できているのかを危惧している。
- ・時々訪問して様子を見に行くが、その訪問も自粛した方がよさそうな気配があり、ますます心配なこどもの様子が見えなくなってくる。

**【4：対応について】** 3で回答いただいた内容について、あなたが現在工夫していることや試していることなどがあればお書きください。

#### 感染拡大防止のための行動

- ・マスク着用、手洗いやうがいの奨励。換気。なるべく分割して運動場や体育館へ。  
(学童保育)
- ・子どもの送迎に細心の注意を払っている。(ファミリーサポート)
- ・感染拡大予防のために過ごし方のルールを変える時には、その年齢に合わせて納得のいくように丁寧に説明している。(居場所)

#### 子どもや保護者のストレス緩和のための行動

- ・天気が良ければ必ず外に連れていく時間を作っている。
- ・仕事を早めに切り上げたり、休日を確保して子どもと過ごす時間を多くしている。
- ・スキンシップや声かけなどをいつも以上に心がけている。
- ・子供達にも挨拶で声かけし、ちょっと話も出来るよう、今流行のアニメやゲームも調べて会話の糸口にしている。お子様連れの方にも笑顔で接し、騒いすみませんと謝ってこられる方も和やかに話せるようにしている。(地域の居場所)
- ・まめに声かけをし、本人のペースを守りながら寄り添い一緒に行動する。(放課後デイ)

#### 今だからできること

- ・我慢することの多い毎日ですが、休校が終わったあと得意になったことがあるとよいねと話し合いパソコンのタイピングの練習や、子どもが作った折り紙作品専用のインスタを開設しました。特に折り紙インスタへの投稿は子どものモチベーションを上げるのにとっても役にたっています。
- ・こんな時だからこそ、笑顔で1日1日過ごせるように子どもからの提案(声)を大事に。やりたいことは可能な限りトライするため一緒に考え、知恵を出し合い、実践している。

#### 福祉、社会課題として

- ・各行政機関にコロナ対策と並行して虐待・自殺防止対策の必要性を伝えている。
- ・食料の配布ができないか検討中。これまで公民館事業の一環として行っていた子ども食堂。公民館が休館している今はそこが課題になっている。
- ・地域で3月の間は毎週の子ども食堂(通常は一か月に一回)対応していただいたが、1週間に1回でも足りないと思っている。

**【5：望むこと】** 状況がどのように改善することを望みますか。また、どのような支援があればいいと考えますか。自由にお書きください。

#### 子どもの遊ぶ権利について

- ・子どもの遊ぶ権利を守りたいが、状況が悪くなると外出もできないのではと心配。
- ・遊びのボランティア、外遊びの道具などの支援がほしい。
- ・長い期間、留守家庭で過ごすため、子どもたちもストレスが溜まっている。新しく本や積み木、ブロックなど購入する支援があれば、子どもたちもまた少しでも楽しんで過ごせる。留守家庭の子どもたちは、両親が仕事のため、常日頃から我慢して、頑張っ毎て毎日を過ごしている。(学童保育)

#### 子どもの学ぶ権利について

- ・安全な環境を整えた上で、人数を分散させて登校、遊びの場として学校を開放する時間や曜日を設けられないか。
- ・毎日短時間でもいいので、決まった時間に、同級生などと一緒に勉強できるオンラインの仕組みがあるといい。

#### 子どもの安心・安全について

- ・家庭以外で安全安心に宿泊可能な場所（自立支援）
- ・学校だけ休校というのは、結局経済優先、子供の安心安全はないがしろにしていることだと感じている。今こそ、子供の声をすくいあげてほしい。
- ・子どもだけで家庭にいる所帯の調査を至急してほしい。
- ・学校の先生や児相の担当者から子どもたちの様子を尋ねる電話があると、忘れられていないのだなあと思える。

#### 子どもの健康面について

- ・ゲームやスマホを長時間使用することで昼夜逆転しているケースが多いので、生活リズムを整えるような啓発、支援が必要だと考える。

#### 家庭内の負担軽減について

- ・希望すれば、学校で給食と同じ材料とレシピの配布があれば家計も助かるのではないか。親は忙しさで疲れ、子はエネルギーの発散不足、どちらの苛立ちも支援できる形を

望む。

- ・どうしても子どもを置いて仕事に行かないといけない家庭と、子どもを見られますよと手をあげる家庭とをマッチングできると良い。

#### 支援者の負担軽減について

- ・人手不足すぎてシフトもたてられない。8時から19時勤務のあと、持ち帰って夕食後に書類仕事をする日がずっと続いており、少しゆっくりしたい。(学童保育)
- ・財政支援。人財派遣。雇用資金が欲しい。交代要員が欲しい。これに尽きます。(学童保育)
- ・措置制度で新規利用者を断れず、定員を超えて受け入れをしており、送迎、人員配置とも足りない状況。定員を超えた受け入れは、安全面でも危険であり、行政が措置として受け入れを要請するのであれば、職員のあっせんや補充等も同時に行ってほしい。(放課後等デイサービス)

#### 経済・福祉・教育等の構造的課題について

- ・失職や経済困難の心配なく親が仕事を休めるようにすべき。
- ・個人、休業店、医療・介護関係者への経済的な支援。
- ・公民館、学校、自治協等地域、子ども未来局等の垣根を越えた体制づくり。
- ・子どもの意思表示の場所(司法や医療)機会、子どもアドボケイト組織を早急に確立してほしい。国連の子ども権利条約個人通報システムの確立も早急に行って欲しい。
- ・学校というものが担ってきた役割を見直すきっかけになるとよいと考える。スリム化・選択化などの視点を社会全体で共有していく必要がある。

**【6：できること】**自分や、関わる団体の持っている知識や技能、リソースで、この状況下の子どもたちのために提供できると言うことがあればお書きください。

子ども食堂、電話相談、一時保護所の子どもたちの受入れ、学習支援、法律相談、図書や教育資料の提供など様々なお意見をお寄せ頂きました。現時点ではまだまとまった情報になっておりませんので、個別のニーズに応じて、ご紹介やマッチングができればと思います。



# 新型コロナウイルスの影響による、子どもたちの状況に関するアンケート

【子どもにやさしいまちづくりネットワークin福岡のみなさまへ】  
日々子どもたちと接し見守られている皆さまに、アンケートへのご協力をお願いします。

社会の急激な変化は、一番弱い立場にある子どもたちに大きな影響をもたらします。休校や外出の制限などを始めとした、新型コロナウイルスがもたらす社会状況や社会不安により、子どもたちの過ごし方、体や心にどのような変化が起きているのか、今なにが必要と思われるかについて、子どもたちに代わってご意見を頂きたいと思っています。

設問は全部で7問（必須4問）です。無記名でも回答できます。  
どんなささいなことでも構いませんので、子どもたちと日々接し、子どもの権利を守り支援する立場から、お気付きのことをご回答いただけたらと思います。

また、このアンケートは、様々な状況でなかなか自分では声をあげづらい子どもたちの声を把握し、可能であれば必要なリソースをつなぐことを想定したものです。現時点で、特定の行政決定や政策等に働きかけをする目的のものではありません。様々な立場の方から、自由にご意見を頂けたら幸いです。

【4月16日(水)】をめぐりに、いったん回答を取りまとめたいと思います。  
皆さまからの様々なご意見をお待ちしております。

子どもNPOセンター福岡 事務局

\*必須

【1：回答者の属性】 子どもから見たあなたの立場をお答えください。 \*

- 保護者や親族として
- 地域で見守る大人として（地域の居場所、民生委員、主任児童員など）
- 児童養護施設職員、里親として
- 職業として関わる大人として（教員、幼稚園・保育園職員、SSW、放課後デイ職員、学童保育職員、医療関係者、児相職員など）
- 似た状況にある友人、仲間として
- 相談業務等の第三者として
- その他:

【2：子どもの年代】子どもの年代をお選びください。\*

- 乳幼児
- 小学生(低～中学年)
- 小学生(高学年)
- 中学生
- 高校生
- その他:

【3：子どもの様子】子どもの過ごし方や過ごしている場所、発言、気になること、心配されることなど、自由にお書きください。\*

回答を入力

【4：対応について】3で回答いただいた内容について、あなたが現在工夫していることや試していることなどがあればお書きください。

回答を入力

【5：望むこと】状況がどのように改善することを望みますか。また、どのような支援があればいいと考えますか。自由にお書きください。

回答を入力



【6：できること】自分や、関わる団体の持っている知識や技能、リソースで、この状況下の子どもたちのために提供できると思うことがあればお書きください。差支えなければ、ご連絡先や、情報が分かるURLなども併せてご記入ください。

回答を入力

【7：ご意見の取扱いについて】ご回答いただいた内容を、個人が特定できない形で集約し、一般向けに公開することについてどのようにお考えでしょうか。\*

- 公開してよい
- 事前に一度確認してほしい
- 公開しないでほしい

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

